



熊野観心十界図 17世紀、兵庫県立歴史博物館蔵

熊野観心十界図には、「この世」と「あの世」を結ぶ仏教的な世界観が描かれています。上部に、人の一生を表現した「老いの坂」が描かれ、中央の「心」という文字からは線が延び、悟りに至った四つの境地と、迷いの中にある六つの世界を合わせた十界とともに、死者の供養も描かれています。このような絵画は、もとは熊野比丘尼と呼ばれる女性宗教者が、熊野権現への信心を説くのに用いたといわれ、中世末期から作例があります。

企画展「タイムトリップ中世！ーくらしのモノがたりー」（会期：2025年7月19日（土）～8月31日（日））では、この資料を含む絵画、古文書、考古資料を通じて、阿波を中心とする中世の人びとのくらしについて紹介します。（歴史担当：長谷川賢二）

徳島県小松島市南西部に分布する 白亜紀の地層 (外和泉層群) について

辻野 泰之

徳島県南東部の羽ノ浦丘陵から勝浦川盆地にかけて、約1億3000万～約8000万年前の白亜紀の地層が帯状に分布しています（図1 A）。その大部分には、物部川層群と呼ばれる白亜紀前期（約1億3000万～約1億年前）の地層が広がっており、特に勝浦川盆地周辺でよく見られます。

物部川層群は、立川層、羽ノ浦層、傍示層、藤川層という4つの地層から構成されており、その中でも最も古い地層である立川層からは、近年、多くの恐竜の化石が発見されています。物部川層群は、地層の露出が良く、アンモナイトや二枚貝といった多様な化石も見つかるため、古くから研究が盛んに行われてきました。

また、羽ノ浦丘陵の北側にも、わずかに白亜紀後期（約9000万～約8000万年前）の地層が分布しており、外和泉層群と呼ばれています（図1 B）。徳島県の外和泉層群は、櫛淵層と立江層の2つの地層からなりますが、これらの地層は、露出が非常に悪いため、ほとんど研究が進んでいません。

しかし、近年、徳島南部自動車道の工事（2014～2022年）によって、外和泉層群が大きく露出しました。この機会を活かし、徳島県立博物館は

地質調査を実施し、アンモナイトなどの化石をいくつか採集することができましたので、ここで紹介したいと思います。

外和泉層群とは？

外和泉層群は、白亜紀後期（約1億～約8000万年前）に堆積した地層で、高知県（梶原・佐川・物部川地域）や徳島県（羽ノ浦丘陵北側）、さらには和歌山県（有田川地域）などに帯状に分布しています。特に物部川地域や有田川地域は、地層の露出も良いため、比較的研究が進んでいます。

櫛淵層

小松島市櫛淵町久ヶ谷では、道路工事によって、櫛淵層が長さ約180m、幅約50mの範囲で広く露出しました（図2）。この地層は、おもに黄土色～灰色の泥岩からなりますが、その多くは、風化作用によって、もろい土状になっていました。泥岩層中には、薄い細粒砂岩層や凝灰岩層（火山灰が固まった岩石）もときおり挟まれていました。露出した地層には、褶曲や断層が多く見られることから、地質構造が、かなり複雑であることが分

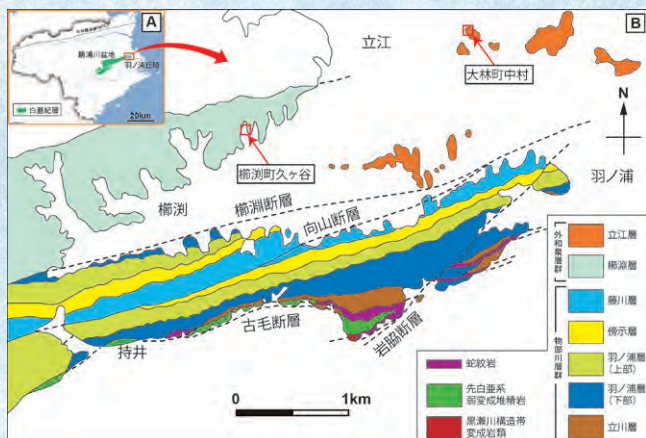


図1 勝浦川盆地から羽ノ浦丘陵にかけての白亜紀層の分布。石田ほか（1996）に基づいて作成



図2 道路工事によって大きく露出した櫛淵層（2022年1月撮影）

かりました (図3)。

これまでの研究では、この地層から二枚貝 (イノセラムス) や放散虫 (海のプランクトンの一種) といった化石が見つかり、櫛淵層は白亜紀のコニアシアン期 (約9000万～約8600万年前) にできた地層とされてきました。

しかし、今回の博物館の調査で、櫛淵層から白亜紀中頃の後期アルビアン期～前期セノマニアン期 (約1億年前) に生きていたアンモナイトが見つかりました (図4)。これにより、櫛淵層の一部は、これまで考えられていたよりも1000万年



図3 地層中に褶曲や断層が観察され、地質構造が複雑であることが分かる。(2021年6月撮影)

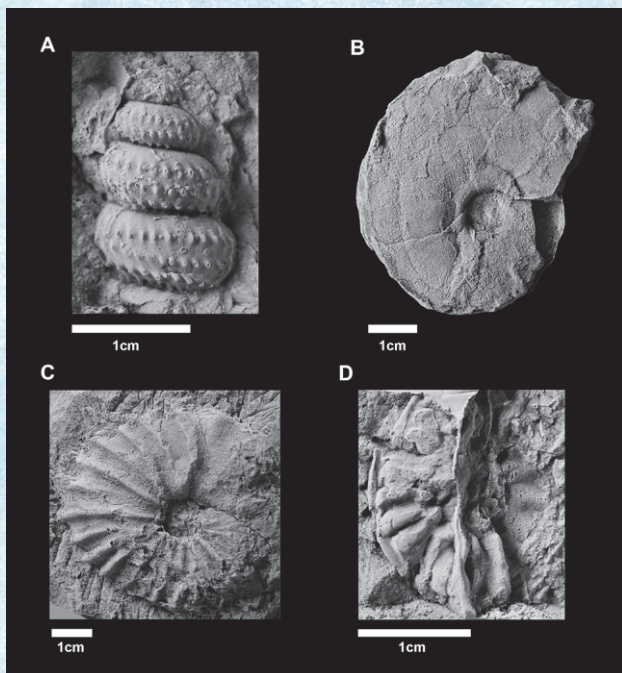


図4 櫛淵層から産出したアンモナイトの化石

- A : マリエラ (*Mariella* sp.) (ゴム型)
- B : デスマセラ (*Desmoceras* sp.)
- C : ストリッチカイア (*Stoliczkaia* (*Lamnayella*) sp.)
- D : モルトニセラス亜科の一種 (ゴム型)

ほど古い年代の地層を含むことが明らかになりました。

おえり 立江層

徳島南部自動車道の工事で、地層が新たに露出したわけではありませんが、立江層についても紹介します。立江層は、小松島市立江町や大林町周辺に点在する小さな丘のみに露出しています。そのため、櫛淵層との関係など、詳しい地質構造はまだ分かっていません。

この地層は、泥岩・砂岩・礫岩からできており、過去の調査ではアンモナイトや二枚貝などの大型化石、さらには放散虫の化石も見つかっています。これらの化石から、立江層は白亜紀のサントニアン期～中期カンパニアン期 (約8500万～約8000万年前) に堆積したものと推定されています。

当館が収蔵する小松島市大林町で採集された立江層産のアンモナイトや二枚貝 (イノセラムス) もカンパニアン期を示しています (図5)。

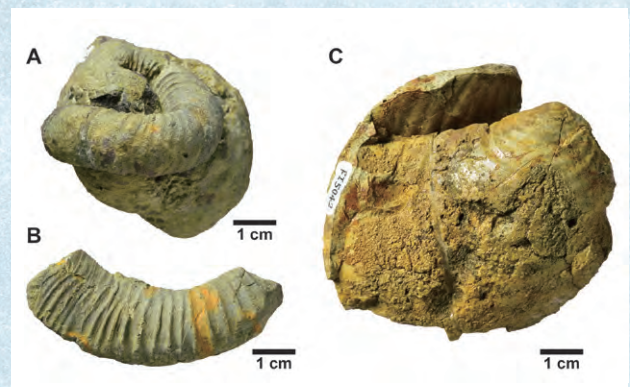


図5 立江層から産出したアンモナイトと二枚貝 (イノセラムス) の化石

- A, B : ユーボストリコセラ (*Eubostriocera* cf. *elongatum*)
- C : イノセラムス (*Inoceramus* cf. *balticus*)

おわりに

これまで地質調査が進んでいなかった地域であっても、道路工事などに伴って、地層が大きく露出した場合、地質調査を行う絶好のチャンスになります。徳島県立博物館では、こうした機会を活かし、地質調査や化石採集を通じて地域の地史を明らかにする活動を行っています。

(地学担当)

企画展

タイムトリップ 中世!

—くらしのモノがたり—

「中世」とはおおむね、平安時代の11世紀後半から戦国時代の16世紀後半を指しています。この時代は、武士と戦乱の時代というイメージが強く、近年はとくに戦国武将が関心を集めています。

しかし、「中世」の実像は、武士と戦乱だけではありません。当時の社会に目を向けると、生産と流通がさかんになり、躍動感にあふれる様子が見出せます。また、「この世」と「あの世」を結び、さまざまな信仰が生きていた時代でもありました。

この展示では、絵画や古文書、考古資料を通じて、阿波を中心とする中世の人びとのくらしの世界を訪ねてみます。さあ、時間旅行（タイムトリップ）に出かけましょう！

会期 2025年7月19日(土)～8月31日(日)

休館日 月曜日(7月21日、8月11日を除く)、7月22日(火)

会場 徳島県立博物館 企画展示室

観覧料 一般200円、高校・大学生100円、小・中学生50円

※土・日曜日、祝日、夏休みは高校生以下無料

※高齢者(65歳以上)は半額(証明書等の提示が必要)

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳等の所持者及び介助者1名は無料

※20名以上の団体2割引



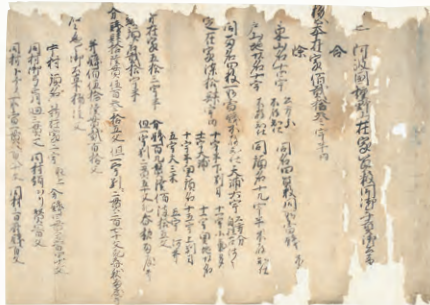
百鬼夜行絵巻 [部分]

兵庫県立歴史博物館蔵



銅経筒 (重要文化財)

大山寺蔵



阿波国種野山在家員数等注進状案 [部分]

(徳島県指定文化財 三木家文書のうち)

個人蔵 (当館保管)



将棋駒 (金将)

徳島市川西遺跡出土

徳島県立埋蔵文化財総合センター蔵

展示構成

(1) オニがいた!—中世のこころ—

① いろいろなオニ

② 地獄の風景

③ くらしの中のいのり

[コラム①] 現代に生きる だいほんにやきょう 大般若経

(2) 日々を生きる

① ムラのくらし

[コラム②] 古文書をめぐるフシギ

② あそび

③ しごと

(3) 旅する人とモノ

① 広がる流通

[コラム③] 地中に埋もれた中世

② 霊場と旅

関連行事

① 記念講演会「謎解き 阿波の中世文書」

日時 8月17日(日) 13:30～15:00

会場 文化の森 イベントホール

講師 春田直紀氏(熊本大学教授)

参加無料
事前申込不要

② 展示解説

日時 7月27日(日)、8月11日(月・祝)、8月31日(日)

いずれも 13:30～14:30

会場 企画展示室

観覧料必要
事前申込不要

③ こどもワークショップ

「くまのかんしんじっかいず 地獄たんけん—熊野観心十界図をかんさつしよう—」

日時 8月10日(日) 13:30～15:30

会場 企画展示室

定員 小学校5年生～中学生 15名

(小学生は保護者同伴)

参加無料
事前申込必要
(申込方法は8ページ参照)
※応募多数の場合は抽選



まげもの
曲物

勝瑞城館跡出土
藍住町教育委員会蔵



すずり
硯

勝瑞城館跡出土
藍住町教育委員会蔵

博物館のIPM

博物館では、植物標本や動物標本のほか、木や紙、動物の骨や皮などを材料とした文化財など、様々な資料を収蔵しています。このような博物館資料を、エサとして食べたり、汚損したりする生物（昆虫などの動物やカビなど）から守るため、いろいろな方法を用いて総合的に防除することを、IPM（Integrated Pest Management 総合的有害生物管理）と言います。

IPMの基本的な手順は、①施設の点検と問題点の洗い出し、②掃除、虫の侵入阻止、③粘着トラップなどによる有害生物活動のモニタリング（図1、図2）、④職員だけでなく、外部協力者を含めた

管理システムの整備、⑤生物被害が発生時の迅速な対処、です。当館では、上記の手順を実践するだけでなく、⑥新たに収蔵する資料や収蔵庫外で長期間保管されていた資料に対し、殺虫・殺菌効果のあるガス状薬剤を用いた「くん蒸処理」をすることで、IPMを実施してきました。ところが、くん蒸処理に使用してきた薬剤が2025年3月で販売終了となったため、薬剤くん蒸処理への依存度を小さくしたIPMに変更することになりました。

変更のポイントとしては、まず、⑤・⑥について、代替のくん蒸ガスの使用や低酸素処理法、二酸化炭素処理法（図3）といった別の方法で対処することです。ただ、これらの方法では、これまでのくん蒸処理で可能であった「カビの殺菌」ができないという大きな問題があります。そこで次のポイントになるのは、①～④について、カビの成長抑制に重点を置いた取り組みを進めることで具体的には、カビが成長しにくい低湿度環境を保つこと、収蔵庫や展示室で定期的にカビの検査を行い、カビの成長の兆候をつかむことなどです。また、カビが発生した場合に備え、カビを除去する体制の整備も重要です。当館では、当面はこれらの変更を軸としてIPMを進め、新たな生物被害が生じて柔軟に対応できるように、IPMを実践していきます。

（考古・保存科学担当：植地岳彦）



図1 常設展示室に設置した粘着トラップ



図2 粘着トラップを確認している様子



図3 二酸化炭素処理の様子

城山の午砲とその記憶

午砲が鳴った、午砲が鳴った。
早く帰ろ、お城の山の鳥がとんだ。
白い五位サギ みな飛んだ。
赤いおべべの姉ちゃんと
お昼を食べにはよ帰ろ。

詩「城山午砲」：船越祐雄（飯原一夫編『絵で見る徳島の百年』徳島史学会、1968年、11ページ ※「おべべ」は着物のこと）

この詩は、戦前、旧徳島城本丸（城山、図1）の、最西端部にあたる弓檣跡ゆみやぐらあとに設置されていた、午砲ごほうに関する情景を詠んだものです。午砲は、人々に時間を知らせるために撃つ空砲のことを指します。日本では、明治時代以降、東京をはじめ各都市で正午に撃たれることが多く、人々からは「午砲」の名で親しまれました。午砲は、サイレンへの切り替えやラジオの時報の普及により、その役目を終えました。江戸東京たてもの園や福岡市博物館などでは現在でも、実際に使用されていた砲身を見ることができます。

さて、徳島に午砲が設置されたのは、1916（大正5）年4月のことでした。大正天皇の御大典記念として設置され、1939（昭和14）年9月に休止されるまで、毎日かかさず人々に正午を知らせました。午砲の音はたいへん大きく、風向きによっては現在の神山町や那賀町でも聞こえたといえます。当時の徳島市の職員が午砲の発射などの管理

を行い、市の予算書には「午砲費」という費目も見られます。

徳島の午砲の砲身は太平洋戦争時の金属供出で失われましたが、弓檣跡にはこの午砲の台座が現存し、全国的にも珍しいと思われています（図2）。

現在、「城山の午砲」を覚えている人はほとんどいませんが、午砲に関する人々の回想には、そのたいへん大きな音に驚いた鳥たちがいっせいに飛び立つという場面が多く登場します。特に、冒頭の詩のゴイサギは、大正期から昭和初期にかけて城山の林に300羽以上も群生したといわれ、城山の「一名物」として当時の観光案内書にも登場しました。しかし、空襲や都市化で自然環境が変化したためか、戦後になると、ゴイサギはその姿を消しました。

午砲とともに当時の人々の記憶に残ったゴイサギの姿は、当館の常設展示室内「徳島の自然とくらし」コーナーで見ることができます（図3）。戦前の徳島の日常に、思いをはせてみるのはいかがでしょうか。（歴史担当：小林篤正）



図2 「城山の午砲」台座



図1 絵はがきに映された昭和初期の城山と徳島市街「徳島駅」の観光スタンプが押されている



図3 ゴイサギ

今年（2025）は、戦後80年の節目の年にあたります。アメリカ軍による徳島市への空襲は、昭和20年（1945）6月1日から7月24日までの間に、7回にわたって行われました。その中で最も被害が大きかったのが7月4日の空襲、つまり「徳島大空襲」です。この空襲によって、死者約1,000人、負傷者約2,000人、被災者約7万人という甚大な被害を受けました（『徳島大空襲』徳島県立博物館、2005年）。

昭和20年7月4日未明、アメリカ軍のB29爆撃機129機が徳島市街地の上空に飛来し、午前1時24分から3時19分までの1時間55分の間に、大量の焼夷弾を投下しました。投下された焼夷弾は、油脂焼夷弾とマグネシウム焼夷弾の2種類で、総数は35万4,664本とされています。当時の徳島市の人口が約11万5,000人であるため、市民一人あたり約3本の焼夷弾が頭上に降り注いだ計算にな

ります。この無差別爆撃によって、武器を持たない一般住民が犠牲となり、徳島市街地は焼き尽くされました（図1～3）。

アメリカ軍による空襲が本格化するのは、昭和20年3月の東京大空襲の以後です。東京に続いて、名古屋、大阪、神戸などの大都市が爆撃を受け、さらに徳島を含む57の中小都市が空襲を受け、日本の主要都市は壊滅します。そして、8月15日、敗戦を迎えます。このように、空襲によって日本は大きな被害を受けますが、昭和20年に突如としてアメリカ軍が空襲を行った訳ではありません。空襲を受ける以前には、日本が中国やアメリカに対して空襲や爆撃を行っています。戦争には、加害と被害の両方の側面があるのです。

戦後80年を経てもなお、世界各地で戦争や紛争が絶えない今、あらためて戦争と平和について考える機会となることを願っています。

（歴史担当：松永友和）



図1 徳島大空襲後の市街地



図2 空襲後の寺町



図3 空襲後の瓦礫の中で入浴する老夫婦

7月から9月までの博物館普及行事

あなたも参加してみませんか？

シリーズ名	行事名	実施日	実施時間	申込	対象(定員)	備考
野外自然かんさつ	川魚かんさつ 夏編★	7月 6日(日)	10:00~12:00	要	小学生以上(20)	徳島市・園瀬川
	初めての植物かんさつ(夏編)★	7月12日(土)	13:30~15:30	不要	小学生以上(20)	同日開催「ゼロから始める植物学」
	花巡り!植物かんさつハイキング7月~山開き自然の中へ!~	7月13日(日)	10:30~17:00	要	小学生以上(20)	海部郡海陽町 現地集合
	文化の森で夜のこん虫かんさつ(夏編)	7月20日(日)	19:00~20:30	要	小学生以上(15)	文化の森総合公園
	漂着物をさがそう!	7月27日(日)	9:00~17:00	要	小学生以上(30)	集合:文化の森総合公園
	花巡り!植物かんさつハイキング9月~秋の七草探してみませんか?~	9月21日(日)	10:30~17:00	要	小学生以上(20)	鳴門市 現地集合
生きものしらべ隊	スンプでかんたん顕微鏡かんさつ★	8月 3日(日)	13:00~15:00	要	小学生以上(15)	
	魚類の頭骨標本をつくろう★	9月 7日(日)	10:00~12:00	要	小学生以上(15)	
たのしい地学体験教室	化石のレプリカをつくろう	8月 2日(土)	13:30~15:30	要	小学生以上(20)	材料費100円 高校生以下不要
	ミクロの化石を観察しよう!	8月10日(日)	10:00~11:30	要	小学生以上(15)	
海部自然・歴史セミナー ※海陽町立博物館共催	銅鏡を作ってみよう	8月 3日(日)	13:30~15:00	要	小学生以上(12)	会場:阿波海南文化村 工芸館 申込先:海陽町立博物館(0884-73-4080)
考古学スタートアップ講座	はじめて学ぶ考古学①~④	7月6日(日)、8月10日(日)、 9月7日(日)、10月5日(日)	13:30~15:00	要	一般(20)	①~④セット 申込みは6/24(火)まで
ワクワクむかし体験	先取り自由研究!民具にチャレンジ★	7月13日(日)	13:30~15:00	要	小学生以上(20)	
古文書で学ぶ 歴史入門	古文書に親しむ①~⑥	9月20日(土)、10月18日(土)、 11月15日(土)、12月20日(土)、 1月17日(土)、2月21日(土)	13:30~15:00	要	一般(40)	①~⑥セット 申込みは9/8(月)まで
ミュージアムトーク	ゼロから始める植物学一標本の作り方編一	7月12日(土)	10:30~12:00	不要	小学生以上(20)	同日開催「初めての植物かんさつ」
	「鳴門わかめ」の誕生	9月28日(日)	13:30~15:00	不要	小学生以上(50)	
企画関連行事	企画展「タイムトリップ中世! 一くらしのモノがたり」展示解説	7月27日(日)、8月11日(月・祝) 8月31日(日)	13:30~14:30	不要	小学生以上	企画展観覧料必要 高校生以下無料
	こどもワークショップ「地獄たんけん」	8月10日(日)	13:30~15:30	要	小学5年生~中学生(15)	
	記念講演会「謎解き 阿波の中世文書」	8月17日(日)	13:30~15:00	不要	小学生以上(150)	
コレクション コレクション 関連行事	歴史・文化コレクション 「戦後80年 戦争の記憶を伝える」展示解説	7月20日(日)	15:30~16:00	不要	小学生以上	常設展観覧料必要 高校生以下無料
		8月 2日(土)	13:30~14:00			
		9月14日(日)	13:30~14:00			
	県民コレクション 「徳島鉱石クラブコレクション: クラブ会員が集めた岩石・鉱物たち」展示解説	7月13日(日)	13:30~14:30	不要	小学生以上	常設展観覧料必要 高校生以下無料 祝日無料
8月10日(日)						
8月11日(月・祝)						
博物館スペシャル	藍の葉っぱで遊ぼう	7月20日(日)	10:00~12:00	不要	小学生以上(100)	常設展観覧料必要 高校生以下無料
	文化の森サマーフェスティバル	8月11日(月・祝)	9:30~16:00	不要	-	祝日無料
	標本の名前を調べる会★	8月24日(日)	10:00~16:00	不要	小学生以上	☆参照

◎★印の行事は「チャレンジ自由研究」対応行事です。 ◎小学生が参加する場合は保護者同伴です。 ◎全ての行事が「文化の森教室」に該当します。
◎「標本の名前を調べる会」は、植物・動物(昆虫・貝など)・岩石・化石などの標本の名前を調べる行事です。希望者は採集標本(1人30点以内)を持って、直接博物館までお越しください。定員はありません。

普及行事の お申し込みについて

開催予定日の**1か月前から12日前必着**でお申し込みください。
参加希望者が定員を超過する場合は抽選とし、結果は全員にお知らせします。また、行事の詳細は、当選者にご案内します。
原則として、参加費は無料ですが、材料費をいただくことがあります。

●往復はがきでの お申し込み

1枚の往復はがきで、
1行事のみ申し込む
ことができます。
右図のように記入し、
お申し込みください。

往復はがきの記入例

< 往信の表面 >	< 返信の裏面 >	< 返信の表面 >	< 往信の裏面 >
〒770-8070 85 往信 徳島市八万町 向寺山 徳島県立博物館	何も書かないで ください	〒□□□□□□ 85 返信 あなたの 郵便番号 住所 氏名	1. 参加希望の 行事名 2. 参加希望者 全員の氏名 (学年・年齢) 3. 住所 4. 電話番号 (またはFAX番号)

●「行事申込フォーム」でのお申し込み

スマートフォン、タブレット等で
QRコードを読み込み、アクセスして
ください。お申し込み後に受付メー
ルが自動返信されます。返信がない
場合は、電話(088-668-3636)また
は、FAX(088-668-7197)でお問い
合わせください。



※提供いただいた個人情報は、お申し込みのあった
行事についてのみ使用します。

学校教育に博物館を!

徳島県立博物館のもつ資源(もの・情報・人)を、学校
教育の場で有効に活用していただきたいと考えています。

- 遠足
- 館内授業(博物館で)
- 出前授業(学校で)
- 博物館資料の貸し出し
- 教材研究のお手伝い

・学習内容に関する質問や
実験・観察の方法など、何
でもお気軽におたずね
ください。動物、植物、地学
考古、歴史、民俗、美術
工芸の各専門分野の学
芸員がご相談に応じます。
お気軽にお電話ください。



火おこし(出前授業・館内授業)

特典がいっぱい!! 徳島県立博物館友の会

博物館友の会は、年間を通してさまざまな体験活動を行い、
自然や歴史・文化について、楽しく学んでいます。

個人でも、ご家族でも、ご入会いただけます。みなさんも参
加してみませんか。

- 年会費
 - ・個人会員2,000円
 - ・家族会員3,000円
 (10月以降にご入会の場合、会費は
それぞれ半額となります。)



- 会員の特典
 - ・友の会行事に参加できます。
 - ・友の会の出版物やミュージアムショップの商品を、1割引で購入することができます。
 - ・催し物案内や博物館ニュース、会報などが、毎月お手元に届きます。
 詳しくは、友の会事務局まで(電話088-668-3636)

お問い合わせは、徳島県立博物館まで(電話 088-668-3636 FAX 088-668-7197)